

鈴鹿川行政会議と

鈴鹿川ふれあい懇談会・パブリックコメントで  
頂いた意見について(速報)

## 第2回鈴鹿川行政会議(平成28年2月10日)

- ❑ 鈴鹿川水系河川整備計画策定あたり、関係行政機関と鈴鹿川に関し情報共有を図ることを目的として「鈴鹿川行政会議」を開催し、鈴鹿川河川整備計画の素案について意見交換を行いました。
- ❑ 実施日 : 平成28年2月10日
- ❑ 構成機関 : 三重県、四日市市、鈴鹿市、亀山市、国土交通省

### 【行政会議で頂いた主な意見】

○鈴鹿川派川の近鉄橋梁付近は掘削していないが洪水が流下するのか。

→ 橋梁より下流の掘削にて目標流量をH.W.L(計画高水位)以下で流下させる計画である。

○横断工作物の改築については、関係機関と慎重に調整した上で実施していただきたい。

→ 了解した。

○ロードマップを作成した上で段階的に事業を実施していくのか。

→ 上下流バランスを踏まえて適切に実施していく。





## 第2回鈴鹿川ふれあい懇談会（平成28年3月18日、3月19日）

- 鈴鹿川水系河川整備計画策定に係る「関係住民の意見を反映させるための必要な措置」の一環として、「第2回鈴鹿川ふれあい懇談会」を関係市にあたる四日市市、鈴鹿市、亀山市において開催しました。
- 105名の住民の方にご参加いただき、鈴鹿川水系河川整備計画（原案）について意見交換を行いました。
- 平成28年3月18日（金）午後：亀山市 【参加者22名】
- 平成28年3月19日（土）午前：四日市市 【参加者67名】
- 平成28年3月19日（土）午後：鈴鹿市 【参加者16名】

### 【亀山市で頂いた主な意見】

注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部修正や追加をすることがあります。

○鈴鹿川と椋川の合流点付近の流れを安定させるために、左右岸の両方を改修してほしい。流れが左岸側によるため、瀬替え等や河床掘削をしてほしい。

○鹿島橋付近の土砂の取り除きを早急に実施してほしい。

○緊急対策の舗装よりも、避難警告が出る箇所の築堤を最優先にしてほしい。

○堤防の補強を行っても、遊水地のようなところに家を建設させないようにした方がよい。

○河川工事を行う際には、生物に配慮した構造を守るべき。

○河川（滯筋）の蛇行部は、環境面を考慮して、現状維持してほしい。

○市・県・国の意見交換会を設けるべきと思う。

○国管理の河川区域を、加太川との合流点やその上流まで延伸してほしい。

○勸進橋上流の公園をもっと使いやすく整備してほしい。





## 第2回鈴鹿川ふれあい懇談会（平成28年3月18日、3月19日）

### 【四日市市で頂いた主な意見】

注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部修正や追加をすることがあります。

○危険情報が入った時、河川行政としてはどのように情報提供されるのか、そのルートと行政として対応を示して欲しい。

○河川の維持管理の考え方についてPDCAと記載されているが、AとPの間に「評価」として情報公開していただきたい。※PDCA=Plan(計画)-Do(実施)-Check(評価)-Action(改善)

○漏水について、現地確認され把握されているのでしょうか。優先順位をつけて対策を実施して欲しい。

○鈴鹿川での津波遡上コンピューターグラフィックを作り状況を住民に周知してもらいたい。

○鈴鹿川の河床の堆積土砂の除去についてどのような計画で堆積土砂撤去をされようとしているのか示してもらいたい。

○海拔水位表示だけでは不安であり、現在の定点カメラは非常に少なく有効に配信されていない。安心して暮らせる治水整備が整うまでの間、自己防衛手段として整えて欲しい。

○鈴鹿川派川と近鉄線の交わる部分の堤防の高さが周囲より低くなっている。当該部分からの河川水の浸入対策を考慮して頂きたい。

○鈴鹿川的环境(渡り鳥、アサリ、つり、サーファー)は最終的にどうなるのか？四日市市の財産として利用できないのか。

○鎌谷川は所管が違うが、三重県と調整して鎌谷川区間の水害が発生しない様に速やかに計画を進めて欲しい。



# 第2回鈴鹿川ふれあい懇談会（平成28年3月18日、3月19日）

## 【鈴鹿市で頂いた主な意見】

注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部修正や追加をすることがあります。

- 鈴鹿川第一、第二頭首工の改築を進行させてほしい。
- 頭首工の魚道の整備を実施してほしい。落差を無くしてほしい。
- 洪水時に土砂が溜まらないように、堰板を上げてほしい。
- 鈴鹿川の水位が高いから椋川の水が流れない。小田町にはすぐ避難勧告が出る。椋川の導流堤を伸ばして椋川の水位が下がるようにしてほしい。
- 平成24年の平和橋の事故を踏まえて、河床を低くし水位を下げてほしい。
- 定五郎橋右岸の交差点を20mずらす計画があるのであれば、それに合わせて堤防も嵩上げしてほしい。
- 安楽川の合流点で重要であるため、中富田の水位観測所を基準点にしてほしい。
- 堰・頭首工の上流に砂が溜まっているため、頭首工を全面開放式にしてほしい。
- 定五郎橋の右岸側下流の竹林を伐採してほしい。
- 安楽川合流部の樹木は伐採せず、それに代わる護岸を築堤してほしい。
- 平和橋下流に鹿が多数出現するので、対策が必要です。



会場状況（H28.3.19）



会場状況（H28.3.19）



会場状況（H28.3.19）

# パブリックコメント(平成28年2月23日～3月23日)で頂いた意見

※3月22日現在の意見

注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部修正や追加をすることがあります。

○鈴鹿川派川の近鉄の橋の部分で高さが極端に低く、洪水時に最初に溢れ出て堤防が決壊するのではないかと、とても不安になります。近鉄鉄橋の高さを上げて堤防を高くしてください。

○派川の河口に砂が多く堆積して、全体的にも砂がかなり堆積している。掘削を行う計画をされているので、ぜひよろしくお願ひします。

○計画には掘削を伴う横断工作物の補強があり、派川の近鉄鉄橋や五味塚橋に補強が無いのが不思議です。

○鈴鹿川派川に親水空間として小さなグラウンドを整備してほしい。人が少ないところに河川敷グラウンドが多い。子供は遠くまで行けない。

○内部川において、鈴鹿川合流点から上流に向かって河道掘削・樹木伐採の工事を早急にお願ひします。理由は、河床に大量の土砂が堆積し、葦が茂り雑木が多く川の水位を上げ、台風の度に決壊の危険にさらされている。